

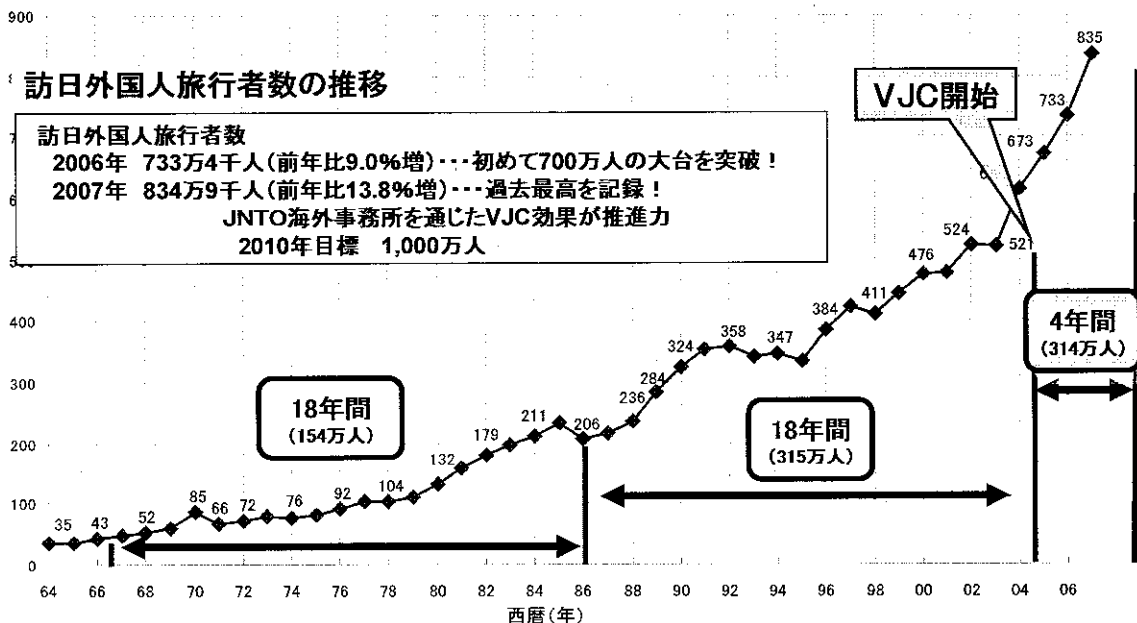
インバウンド振興の 新たなる局面

平成20年3月13日

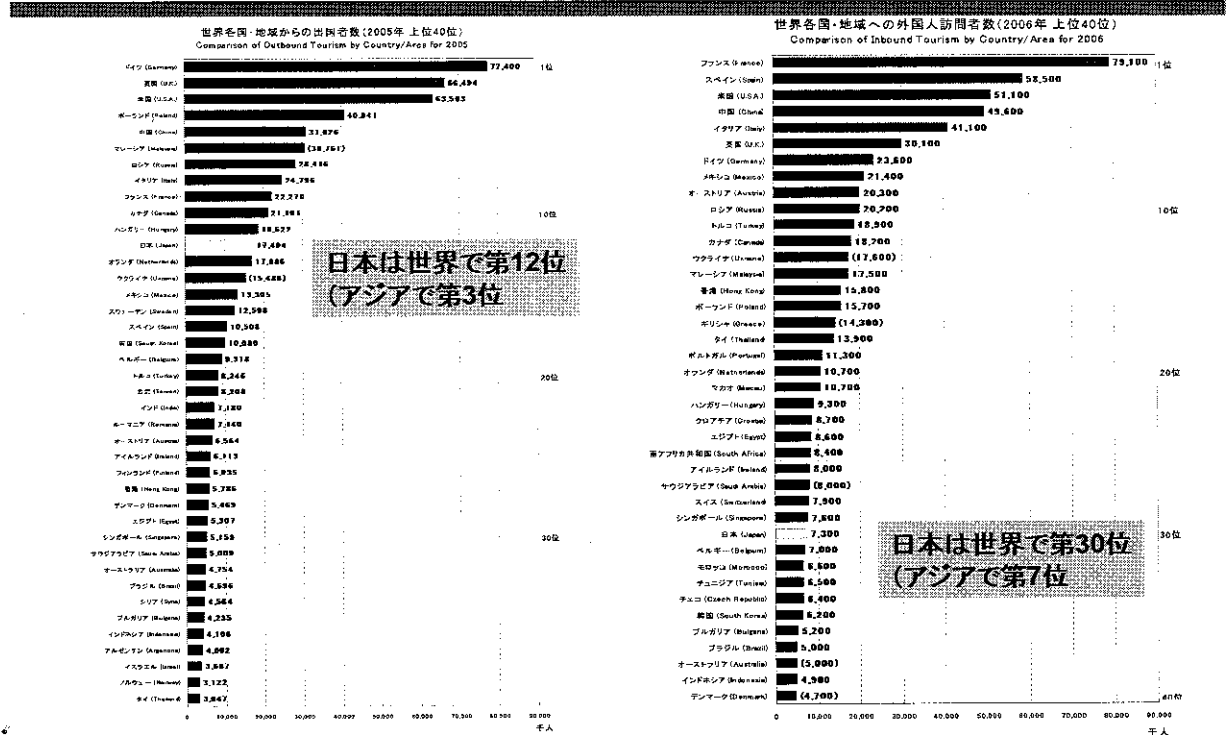
独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)

事業開発部長 加藤 英一

1. 訪日外国人旅行者数拡大におけるVJC効果

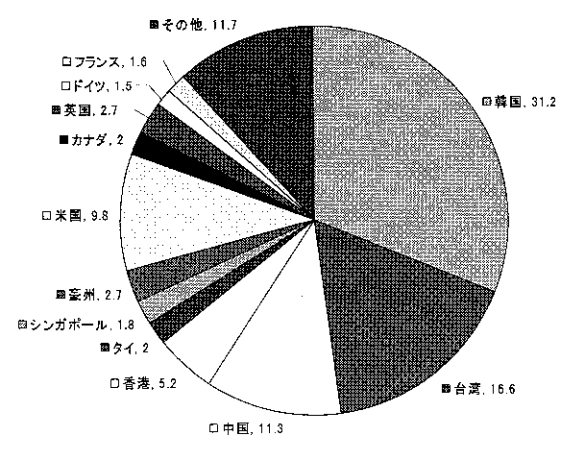


2. 主要国における出入国旅行者数国際ランキング



3. 2007年訪日外国人の国・地域別割合

市場	平成18年(2006年)		平成19年(2007年)		増率(%)
	人数	シェア(%)	人数	シェア(%)	
韓国	2,117,200	28.9	2,600,800	31.2	22.8
台湾	1,309,100	17.8	1,385,200	16.6	5.8
中国	811,700	11.1	943,400	11.3	16.2
香港	352,300	4.8	432,100	5.2	22.7
タイ	125,600	1.7	167,500	2.0	33.2
シンガポール	115,800	1.6	151,800	1.8	31.0
豪州	195,100	2.7	222,500	2.7	14.0
米国	816,700	11.1	815,900	9.8	-0.1
カナダ	157,400	2.1	166,000	2.0	5.4
英国	216,400	3.0	221,900	2.7	2.5
ドイツ	115,300	1.6	125,300	1.5	8.6
フランス	117,700	1.6	137,700	1.6	16.9
合計	6,450,300	87.9	7,370,100	88.3	14.2
その他の市場	884,100	12.1	979,100	11.7	10.7
訪日外客総計	7,334,400	100.0	8,349,200	100.0	13.8



4. 訪日外国人旅行者の都道府県別訪問地

東京、大阪、京都、神奈川、千葉がトップ5

【都道府県別訪問率の推移】

•1位から9位の順位は3年間変わらず。商用客と初訪日の観光客が多く訪れる大都市圏が上位を占める。

2002年度 訪日外客数 5,314,590 人			2003年度 訪日外客数 5,354,026 人			2004年度 訪日外客数 6,286,654 人			2005年度 訪日外客数 6,841,245 人			2006年度 訪日外客数 7,561,195 人		
平成14年度(N=7,602) 2002-2003			平成15年度(N=4,829) 2003-2004			平成16年度(N=10,660) 2004-2005			平成17年度(N=12,232) 2005-2006			平成18年度(N=13,891) 2006-2007		
順位	都道府県	訪問率 (%)	順位	都道府県	訪問率 (%)	順位	都道府県	訪問率 (%)	順位	都道府県	訪問率 (%)	順位	都道府県	訪問率 (%)
1	東京	52.7	1	東京	54.5	1	東京	58.2	1	東京	58.5	1	東京	57.4
2	大阪	27.8	2	大阪	27.0	2	大阪	21.6	2	大阪	22.6	2	大阪	23.7
3	神奈川	15.6	3	神奈川	15.8	3	京都	17.4	3	京都	19.1	3	京都	20.3
4	京都	14.7	4	京都	15.2	4	神奈川	16.4	4	神奈川	18.9	4	神奈川	18.8
5	千葉	13.2	5	千葉	12.1	5	千葉	13.0	5	千葉	15.4	5	千葉	16.7
6	愛知	11.2	6	愛知	9.7	6	愛知	9.6	6	愛知	11.9	6	愛知	9.6
7	北海道	9.1	7	兵庫	7.1	7	福岡	8.2	7	福岡	7.4	7	福岡	8.7
8	福岡	7.0	8	北海道	5.2	8	兵庫	6.2	8	兵庫	6.9	8	兵庫	7.4
9	兵庫	5.8	9	福岡	5.2	9	山梨	4.9	9	山梨	5.8	9	山梨	6.6
10	奈良	5.2	10	奈良	5.0	10	奈良	4.8	10	北海道	5.6	10	北海道	6.4
11	山梨	4.7	11	山梨	3.7	11	広島	4.1	11	奈良	4.9	11	奈良	6.1
12	静岡	3.9	12	静岡	3.3	12	北海道	4.0	12	静岡	3.6	12	長崎	4.3
13	沖縄	3.6	13	栃木	2.7	13	栃木	3.5	13	長崎	3.6	13	栃木	4.2
14	広島	3.2	14	沖縄	2.5	14	静岡	3.4	14	栃木	3.5	14	大分	4.0
15	栃木	2.7	15	埼玉	2.3	15	長崎	3.4	15	広島	3.5	15	広島	4.0
16	長崎	2.7	16	広島	2.2	16	熊本	3.0	16	熊本	3.0	16	熊本	3.7
17	大分	2.4	17	大分	2.2	17	大分	2.7	17	大分	2.9	17	熊本	3.6
18	熊本	2.2	18	長崎	2.1	18	長野	2.6	18	沖縄	2.2	18	長野	2.7
19	埼玉	2.1	19	埼玉	2.1	19	沖縄	2.5	19	埼玉	2.0	19	岐阜	2.5
20	長野	2.0	20	茨城	1.7	20	埼玉	2.1	20	長野	2.0	20	沖縄	2.4
				長野	1.7									

延べ訪問率 Total: 210.7

延べ訪問率 Total: 198.2

延べ訪問率 Total: 209.0

延べ訪問率 Total: 220.7

延べ訪問率 Total: 235.7

注1: 訪日外国人旅行者の全体の数は年々増加しているため、訪問率が減少したとしても、当該地を訪問している旅行者の実数が減少しているとは限らない。

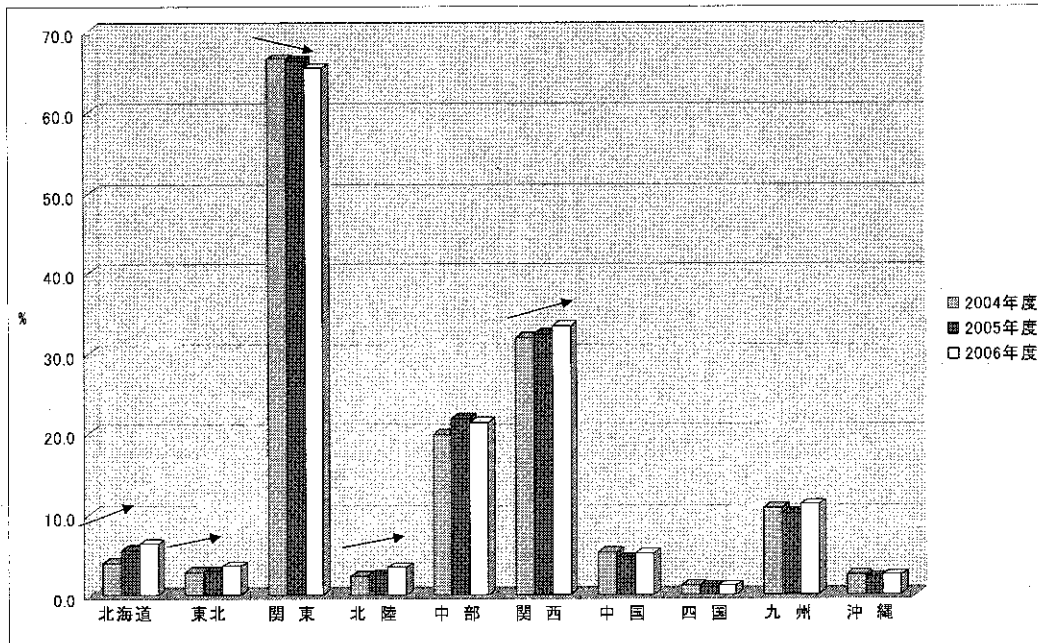
注2: 2003年度はSARSの影響により、秋季と冬季の2回のみ調査を行った。

注3: 延べ訪問率=各都道府県への訪問率を足し合わせた数値

5. 訪日外国人旅行者のブロック別訪問率 - 地方の訪問率が増加傾向

【ブロック別訪問率の推移】

• ブロック別に見ると、関東がやや減少気味であるのに対し、北海道・東北・北陸・関西など地方の訪問率が増加傾向にある。



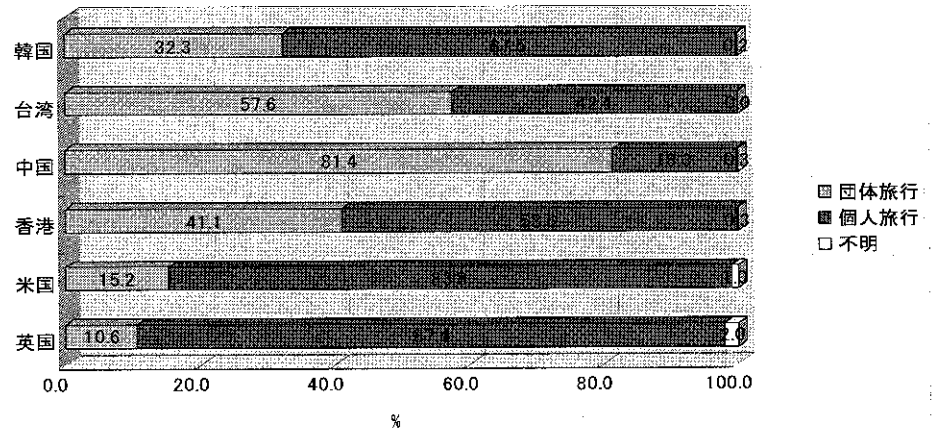
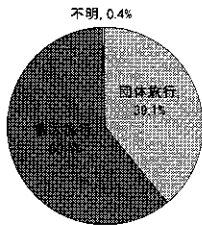
6. 訪日外国人旅行者の旅行形態(観光客)

個人旅行が全体の60.5%を占め、団体旅行の1.5倍

- 観光客では、団体旅行39.1%、個人旅行60.5%となり、2対3の割合で個人旅行が多い。米国・英国の観光客の個人旅行比率は8~9割で極めて高く、これに対し中国・台湾は、団体旅行の比率が6割~8割と、比較的割合が高い。

図表6 【訪日形態】(観光客/市場別)

図表5 【訪日形態】(観光客/全体)

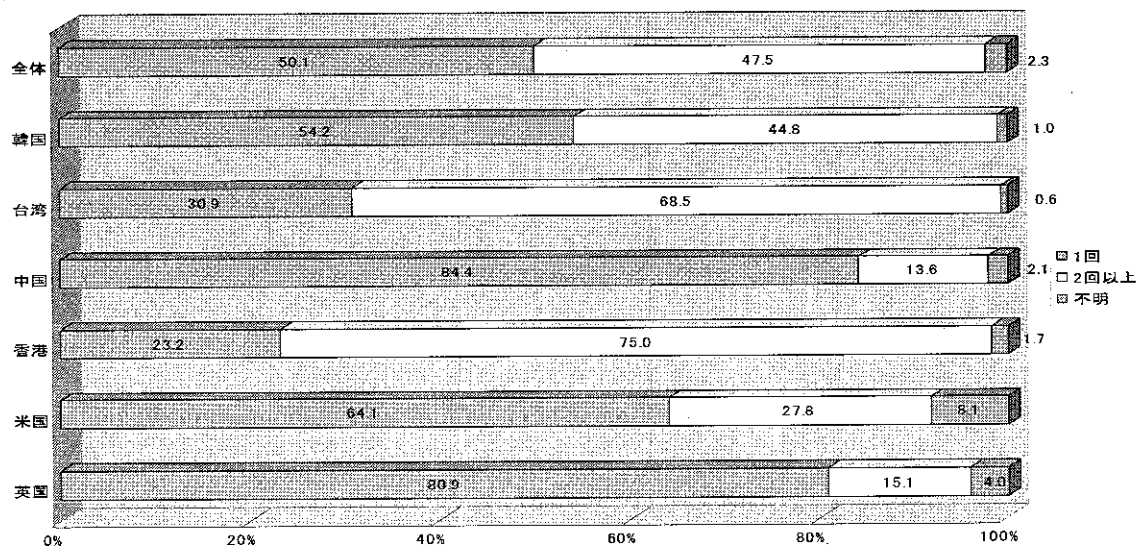


7. 訪日外国人旅行者の訪日回数(観光客)

- リピーターが半数

- 全体のリピーター率は47.5%
- 初訪日者の比率が高いのは、中国(84.4%)、英国(80.9%)で、リピーターの比率が高いのは、香港(75.0%)、台湾(68.5%)である。

図表7 【訪日旅行回数】(観光客)

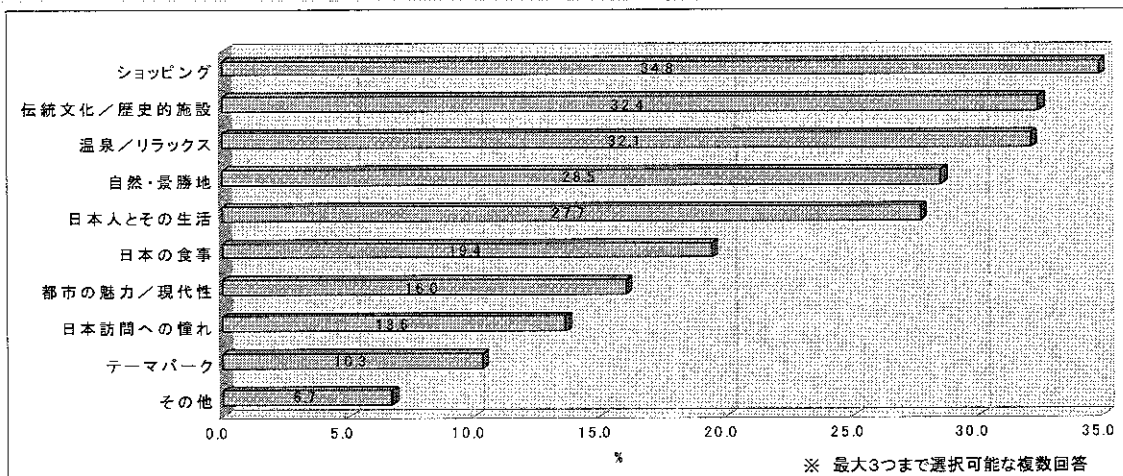


※ 今回観光の目的で訪日した観光客を対象とし、これまで観光目的で訪日した回数を集計

8. 訪日外国人旅行者の訪日動機(観光客)

- 「ショッピング」が34.8%で1位に

- ・全体傾向としては、「ショッピング」が、前年度1位の「伝統文化/歴史的施設」、2位の「温泉/リラックス」を抜いて1位となった。
- ・アジアは「温泉/リラクゼーション」「ショッピング」に対する関心が高く、米国・英国は「伝統文化・歴史的施設」「日本人とその生活」の比率が高い。
- ・台湾・中国は「自然・景勝地」への関心も高く、香港は「ショッピング」の比率が極めて高い。



■「JNTO訪日外客実態調査2006-2007」概要■

- ・対象 : 日本旅行を終えた外国人旅行者(インタビュー方式によるサンプル調査)
- ・調査場所 : 9空港(新千歳、仙台、成田、羽田、中部、関西、福岡、那覇の各国際空港及び博多港)
- ・調査時期 : 夏(2006年7月~8月)、秋(2006年10~11月)、冬(2007年2月~3月)
- ・サンプル数 : 13,891票

9. 激変する日本の受益者(ステイクホルダ)

- ・ 流通業界のVJCへの参画(Yokoso Japan大使への任命)
 - * セブン銀行(24時間ATM)
 - * 日本百貨店協会(高級ブランド+言語対応)
- ・ 流通業界他の商機向上の手ごたえ
 - * ビックカメラ、ヨドバシカメラ等
 - * 電化製品量販店、各種ソフトウェア
 - * サンリオほか、アニメ・ポップカルチャー業界
 - * 飲食チェーン店

10. 訪日外国人から見た期待はずれな点や改善提案

外国語案内・標識・言語障壁

- ・外国語標識をもっと。特に安全に関する表示は必要。ピクトグラムの活用を。
- ・駅の英語案内不足。特に切符の値段が分らない、自販機で駅員もいない。漢字の瞬時ローマ字変換ソフトの内蔵を望む。→**鉄道業界**
英語可能なスタッフの配置を望む。駅構内にもっと英語・中国語表示を(中国)英語標識を。
- ・寺社で清めの水、賽銭箱、参拝方法などの外国語説明パンフや案内板があれば、日本文化をより理解できる。
- ・メニューに外国語(英語、中国語、韓国語)併記を。料理方法、素材の外国語による説明があれば食事がもっと楽しくなる。→**飲食業界**
- ・町でのインターネット利用環境(インターネットカフェなど)が少ないのが残念。増えることを期待。
- ・携帯パソコンが使える(接続できる)ホテルやその他の場所を増やしてほしい。→**宿泊業界**

景観・街・観光施設・観光魅力→建設業界

- ・観光地や施設での和式トイレが不便。公衆トイレにも洋式を。
- ・いたるところのむき出しの電線は、街並みの景観を損なう。→**電力業界**
- ・町にゴミ箱が無いのは不便、改善を。
- ・町にベンチを。休みながらの観光に便利。

その他

- ・禁煙/喫煙の場所分けをもっと徹底的に。
- ・もっと観光PRに力を入れるべき。
- ・ボランティアガイドを活用すべき。
- ・外国のバンクカードやクレジットカードでのキャッシングができるところが少ない。→**銀行業界**
- ・入国審査をもっとスムーズに(日本人の列は人数が少ない時は外国人も受けるべき)。
- ・ホテルの部屋への外国語放送の導入を。→**宿泊業界、放送業界**

(JNTO訪日外国人旅行者満足度調査2005年6月、TIC来訪者調査2007年)



11. 訪日外国人旅行による経済波及効果

■ 2005年及び2010年訪日外客1,000万人達成時の訪日外国人旅行の消費額と経済波及効果

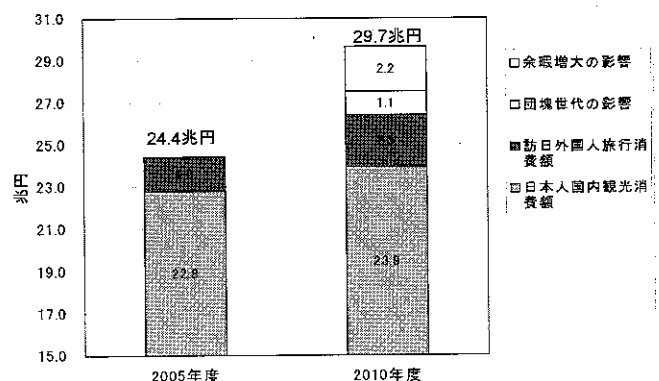
		2005		2010	
		訪日外国人旅行	日本全体	訪日外国人旅行	日本全体
旅行消費額		1.7兆円	24.4兆円	2.5兆円	29.7兆円
経済波及効果	生産波及効果	4.1兆円	55.3兆円	5.8兆円	65.2兆円
	付加価値効果	2.1兆円	29.7兆円	3.1兆円	35.8兆円
	雇用効果	32.5万人	469.2万人	46.7万人	627.7万人

(注1) 訪日外国人旅行の経済波及効果は、財務省/日本銀行発表の国際収支統計、JNTO訪日外客消費動向調査などを基に、JNTOが**仮ベース**で推計した。

(注2) 訪日外国人旅行の消費額に日本人の国内観光消費額を加えた「日本全体の旅行消費額及び経済波及効果」は、国交省が**仮ベース**で推計した。

(注3) 経済波及効果については、産業部門別に按じた旅行消費額を、三菱UFJリサーチ&コンサルティングが作成した2005年と2010年の産業連関表に投入して推計した。

■ 2005年度と2010年度の国内旅行消費額の比較



- 「生産波及効果」とは、特定の需要(ここでは訪日外国人旅行)によって誘発される各産業の生産額(の合計)を指す。
- 「付加価値効果」とは、生産額の増加に伴い誘発される付加価値を指す。生産波及効果から、原材料等中間投入額を差し引いたものが、付加価値効果となる。
- 「雇用効果」とは、生産額の増加に伴い誘発される就業者数を指す。



12. JNTO海外市場向けPR活動(一般消費者、旅行業界対象)

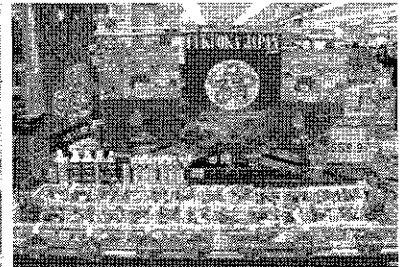
海外有力メディアの取材招請・協力によるTV、新聞、雑誌、ガイドブックへの日本旅行魅力の露出

- ・アメリカ3大ネットワーク「CBS」による東京の魅力
取材協力(平成18年度)
- ・ガイドブック「ミシュラン」日本編取材協力(2007年4月発行)



香港新聞記事掲載例

平成19年度VJC香港観光親善大使
香港人歌手・女優フィオナ・シッが訪める
原宿、青山の観光スポットとスイーツショップ



香港スーパーでの人気の日本食品販売コーナー

観光博覧会への出展、訪日旅行PR催事の開催

- ・アジア地区
出展参加件数12件、参加自治体数80県/市
- ・欧米豪地区
出展参加件数14件、参加自治体数6県/市
(平成18年度)



圧倒的な賑わいの日本ブース
(香港国際旅遊交易会ITE2007)



香港日本の祭り。メイドコスプレも人気

情報提供



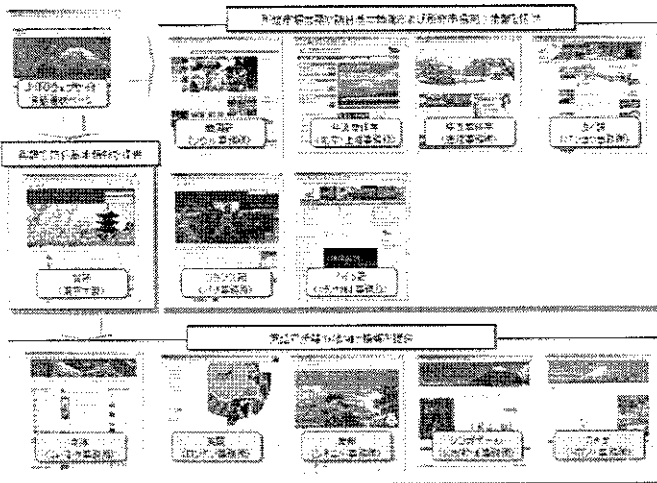
13. JNTOウェブサイトによる海外市場向けPR

日本観光のポータルサイトとして7言語で全世界に情報発信 <http://www.jnto.go.jp>

- ・アクセス実績H19年度上半期 2,800万 pv(前年同期比35.8増)。
- ・全国400観光地情報を発信。
- ・海外事務所のローカルサイトから現地の視点で情報発信。
- ・観光地の画像 2,000枚 のダウンロードが可能。

JNTOウェブサイトを活用した市場特性分析事例

地域観光情報(全国約400観光地)の閲覧数アクセスランキング



順位	英語	韓国語	中国語簡体字	中国語繁体字
1	新宿	新宿	銀座・日本橋	小樽
2	箱根	渋谷	新宿	富良野
3	渋谷	お台場	お台場	函館
4	皇居周辺	池袋	浅草	軽井沢
5	銀座・日本橋	銀座・日本橋	秋葉原	河津湖
6	秋葉原	福井	皇居・丸の内・霞ヶ関	富良野
7	浅草	皇居・丸の内・霞ヶ関	渋谷	登別
8	赤坂・六本木	原宿・表参道	箱根	新宿
9	札幌大通公園	札幌大通公園	登別	旭川
10	湯沢駅前	札幌駅	池袋	北海道
11	原宿・表参道	浅草橋	小樽	和牛
12	上野	秋葉原	原宿・表参道	稚内
13	池袋	湯沢橋	軽井沢	定山渓
14	日光市内	博多	高山	札幌大通公園
15	皇居・丸の内・霞ヶ関	札幌駅前	富良野	浅草
16	富士山静岡	赤坂・六本木	函館湖	お台場
17	富士山山梨	浅草	札幌大通公園	札幌
18	お台場	浅草	赤坂・六本木	池袋
19	福井	上野	秋葉原	秋葉原
20	高山	関川島	箱根	渋谷

(注) -JNTOウェブサイト掲載の全国47都道府県の約400観光地情報へのアクセス数を集計
-東京、大阪、京都などの大規模な都市は、対象地域を複数の観光地に分割して掲載
-統計期間:平成19年4月~平成19年9月

東京都内
京都・大阪
北海道
その他